

まんのう町エコツーリズム推進全体構想について

1. 背景および目的

本町は香川県の南西部、讃岐山脈北側の丘陵地に位置し、山間部地域は、香川県の中で最も自然環境や森林資源に恵まれた地域であるが、自然豊かな地域ほど、人口減少・少子高齢化が進行するという状況下にある。一方で、最近のコロナ禍にあつて、自然が豊かな地域は、都市周辺の野外活動の場として見直されており、本町は高松市等の市街地から自家用車で1時間程度でアクセスできる地域であることから、地域資源としての自然環境を活用した取り組みが期待されている。そのため、地域の実情に沿った、今ある資源を活かした地域活性化の取り組みとして、エコツーリズムに注目し、地元の受け入れ可能な規模で、身の丈に合った事業展開を基本として、「豊かな自然環境を活用・保全し、持続可能で若者から高齢者までが生き生きと暮らす地域の実現」を目的とした「まんのう町エコツーリズム推進全体構想」を策定した。

2. 概要

■まんのう町エコツーリズム推進全体構想を推進する地域

本町のエコツーリズムの目的を「豊かな自然環境を活用・保全し、持続可能で若者から高齢者までが生き生きと暮らす地域の実現」としたが、その取り組みが最も必要とされている地域は、最も過疎化の進んだ地域であり、土器川の源流域としてまとまりのある自然環境を有する琴南地域がふさわしいことから、この地域の全域を対象とする。

■対象となる主な自然観光資源

- 自然環境に係るもの
 - ・大川山からの風景、三霞洞溪谷、黒部溪谷、久保谷などの自然景観
 - ・讃岐山脈のケスタ地形、木戸の馬蹄石、八峯川の滝などの地形・地質
 - ・大川山山頂のイヌシデ林、竜王山の森林、寺社の社叢と巨木などの森林生態、讃岐山脈の動植物
- その他の観光資源
 - ・阿波街道と三頭越、金毘羅街道と借子牛、平家伝説の里、氏神社と伝統行事、水をめぐる物語と史跡、大川神社と念仏踊りなど

■まんのう町エコツーリズム推進全体構想の実施方法

エコツーリズムの推進によって目指す地域の姿を「豊かな自然の恵みを享受して、ゆったり暮らせる地域」とし、これを実現するために、「里地里山の豊かな景観や生態系の保全と継承」、「地域資源の活用による自然と人と地域の交流の活性化」、「里地里山の暮らしを活かした持続可能な地域づくり」の3つを基本方針として、関係団体、地域住民、行政が連携し、地元の受け入れ可能な規模で、身の丈に合った事業展開により、エコツーリズムの推進に取り組む。

- 主なエコツアー
 - ・森林や山岳を活用したツアー（森さんぽ、森林ヨガ、山岳トレッキング、トレイルランニング）
 - ・里山や地域産品を活用したツアー（森林整備体験、ソバづくり体験）
 - ・生き物を活用したツアー（バードウォッチング、動植物観察会）

■まんのう町エコツーリズム推進全体構想の推進体制

まんのう町エコツーリズム推進協議会

まんのう町、一般財団法人ことなみ振興公社、まんのう町文化財保護協会琴南支部、一般社団法人かがわガイド協会、特定非営利活動法人フォレストーズかがわ、特定非営利活動法人みんなでつくる自然史博物館・香川、島が峰の原風景を守る会、一般社団法人ランニングドランカーズ、香川西部森林組合、湯山荘 阿讃琴南 他
--

まんのう町エコツアーの写真



森さんぽ



森林ヨガ



讃岐山脈のトレッキングツアー



ツリークライミング体験ツアー



バードウォッチング



トレイルランニング